

科目名	単位数	学年	必修・選択	備考
現代文B	2/4	3	必修	2, 3年分割履修

1 科目の概要・学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

2 成績・評価

成績評価の方法：各学期とも定期考査7割程度（そのうち2割～3割を「国語頻出問題 1200」よりの出題）、残り3割を提出課題（意見文・ワークシート、宿題、授業ノット・誤答ノット等）、小テスト、授業態度で評価する。

3 ■使用教科書△副教材

■第一学習社「改訂版現代文B」△第一学習社「現代文B学習課題集」△いっぴずな書店「国語頻出問題 1200 四訂版」△京都書房「新訂国語図説五訂版」

4 授業展開、形態・方法 一斉授業（40人）

・主にペアやグループ活動などによる話し合いや文書作成などの言語活動を通して、文章の構成・展開・要旨などを的確に捉え、考えを深め発展させる、語句の意味や用法を的確に理解し語彙を豊かにする。

学期	月	単元および扱う教材	時数	定期考査	国語頻出問題 1200 範囲	評価方法
1	4	オリエンテーション	1	1 学期末	P48～ P92	【定期考査】主に授業で学習した範囲からの出題。2～3割程度は国語頻出問題 1200 範囲から出題する。 【授業態度】 ・授業内の態度・発言・発表（ペアやグループ学習における協働的態度の観察） ・授業ノット・ワークシート記入 ・チームからの課題返信等 【提出課題】 ・日々の授業活動における宿題 ・定期考査および実力テストの誤答ノット ・学習課題集 ・意見文（1 学期） ・実力テストの事前課題 ・スタポからの課題返信 ・長期休業中の課題
		評論（一）「未来世代への責任」	8			
	5	言語活動：要約のしかた 意見文クラス発表	2 1			
		6	小説（一）「骰子の七の目」			
	7	評論（三）「目に見える制度と見えない制度」	1 2			
2	9	詩「足と心」「自然の背後に隠れて居る」	6	2 学期末	P132～ P144	定期考査を行わず、制作されたレポートおよび言語活動における内容を評価の対象とする。
	10	評論（二）「いのちのかたち」	1 0			
	11	言語活動：情報の探し方	4			
	12	小説（二）「舞姫」	1 4			
3	1	言語活動：報告文（レポート）の書き方	4			
		2	研究発表のしかた	4		

5 学習方法・学習のポイント

【予習】①教材を予め読んでおき、要旨を捉える。②わからなかった語や慣用句などを調べ、漢字の書き取りを行う。（主に教科書・学習課題集を使用する）③「スタディサプリ」や「国語頻出問題 1200」を日ごろから勉強し、語彙を増やしておく。

【復習】①学習課題集等を利用し読解問題を解き、授業内容を補完する②身につけた語彙や情報を定着するまで繰り返し、生活の中で活用していく。③自分の主張を明確にした上で他者の意見を許容し、常に論理的思考をもちながら、問題意識を持つようにする。

6 その他

- ・日ごろより読書活動や新聞を読む、自分の考えを文章にまとめるなどし、総合的な国語力を養うように努めること。
- ・春課題に「意見文（弁論原稿）」を課す。また、実力・定期考査後には間違った箇所を復習し、学び直しと自己分析、目標設定を目的とした「誤答ノット」を課す。
- ・2 学期 11 月以降、特進クラスに関しては特別に共通テストを意識した授業を進めていく。
- ・3 学期の成績は出席の状況、授業態度、小説「舞姫（森鷗外）」に関するレポートを作成し、評価の材料とする。